

エドワーズ ドライ真空ポンプの 採用事例：熱処理炉

高い製品品質を実現するため、Ipsen International GmbHは、高真空ろう付け炉にエドワーズのドライ真空ポンプ技術を採用しました。

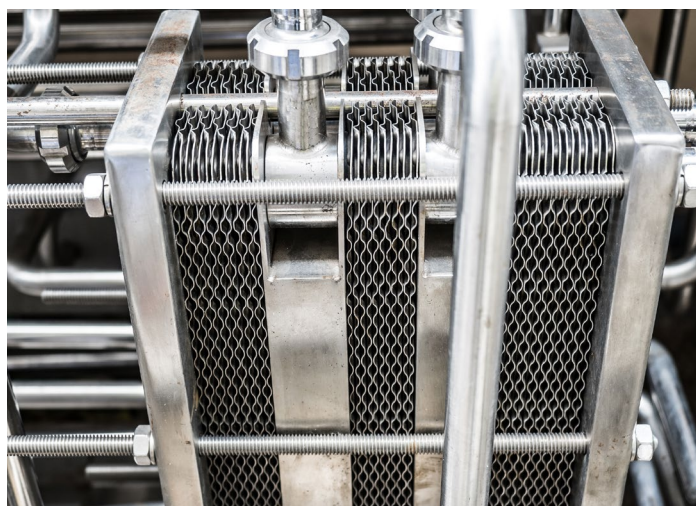
edwardsvacuum.com

IPSEN社について

Ipsen International GmbHは、ドイツに本社を置く、熱処理システム製造のグローバル企業です。

今回のエドワーズとのプロジェクトについて、Ipsenのシステムエキスパートであるマイケル・サイモン氏は、「エドワーズの真空システムの品質と性能に感銘を受けています。単独供給元としてエドワーズと協力し、彼らのローカルサービスとサポート体制を活用することは、我々にとって大きなメリットでした。」と語っています。

エドワーズの真空システムが組み込まれたIpsenのろう付け炉は中国のエンドユーザー様に納入されました。



概要

高真空ろう付け炉には、エドワーズ社製メカニカルブースター内蔵GXS250/2600と2台のSTP4503ターボ分子ポンプのセットが採用されています。オイルフリーのドライポンプであるため、炉内がオイルで汚染されることはありません。定期的なメンテナンスが必要なクライオポンプとは異なり、STPはメンテナンスと電力消費が少ないため、ランニングコストを低く抑えることができます。

STPはチャンバーに直接取り付けられるため、コンパクトで工場の床面積を節約できます。また排気時間が短いため、生産性が向上します。

GXSドライスクリーポンプは、過酷な産業用途でも堅牢で信頼性の高い運転を実現します。革新的な自動遠隔制御により、安定した出力と安全な運転が可能になり、水道光熱費を削減します。



GXSドライスクリー
ポンプシリーズ

STP4503
ターボ分子ポンプ

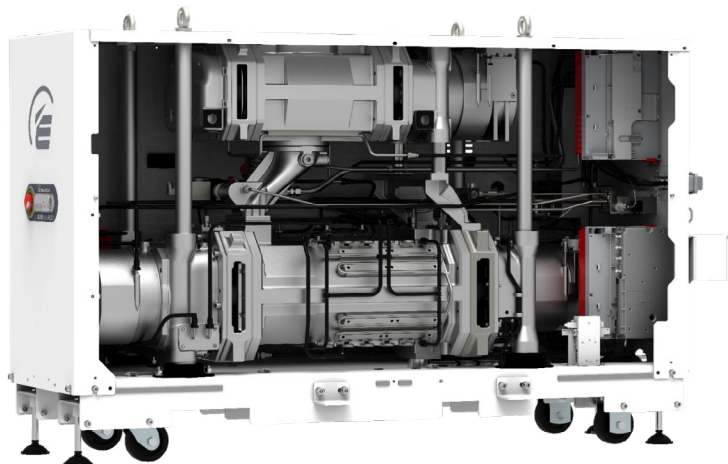
熱処理システム

1. 課題

従来、この種の炉には、ガスや蒸気を冷たい表面で凝縮させて捕捉するクライオポンプが使われていました。しかし、クライオポンプは一定時間が経過すると、再生作業を行なう必要がありました。

2. 解決策

エドワーズはこの炉に、メカニカルブースター内蔵のドライスクルーポンプGXS250/2600とターボ分子ポンプSTP4503を2台使用するソリューションを提供しました。これらはすべてオイルフリーのドライポンプであるため、オイルが炉を汚染するリスクがありません。



GXSドライスクルーポンプシリーズ

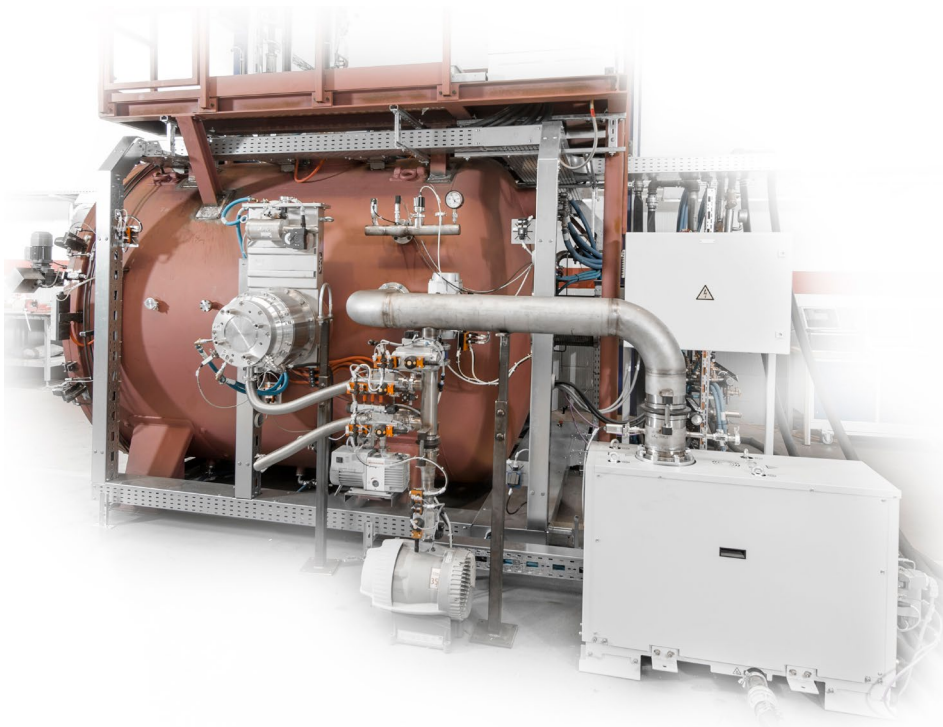
3. 結果

エドワーズシステムソリューションの特徴：

- 設置面積の縮小
- エネルギー消費量の削減
- 環境への影響の低減

STPターボポンプはチャンバーに直接取り付けられるため、排気能力を低下させるエルボが不要という利点があります。サイズがコンパクトなため、プラントのフットプリントを節約できます。さらに、運転真空圧までの排気時間が短縮され、生産性が向上します。

GXSドライスクルーポンプと内蔵メカニカルブースターは、過酷な産業用途でも堅牢で信頼性の高い運転を実現します。革新的な自動リモートコントロールにより安定した出力と安全な運転が可能です。GXSはポンプの耐用年数が長く、メンテナンスが最小限で済むため、光熱費やエネルギー使用量が少なく、産業用途で最も経済的な真空ポンプです。



Ipsenでの設置図